



松本きみ

活動報告
令和5年
秋号

令和5年10月発行 第2号

令和5年第4回定例会（9月定例会） 一般質問内容（一部抜粋）

1. 大東グラウンド、BMX・スケートボードエリアの利用と今後の活用について

Q1 それぞれの施設の特徴や管理体制について。

A1 大東BMX・スケートボードエリア

【文化スポーツ部 スポーツ振興課】

⇒増形地区産業団地内の調整池を整備したエリアであり、5,015㎡の面積を有し、公設のものとしては、埼玉県内では最大級の広さがあるものと認識しております。エリア内には、中級者以上向けの階段や半円状のセクションと呼ばれる構造物が設置されておりますが、平地部分の面積が広く、初心者の練習にも適したものとなっております。現状の管理体制としましては、業務委託による有人管理で行っております。

大東グラウンド

【都市計画部 公園整備課】

⇒川越増形地区産業団地整備事業区域内に整備された都市公園で、令和5年4月1日より供用開始いたしました。公園内に整備された多目的グラウンドには天然芝を採用したことから、芝の生育状況を考慮し、令和5年7月より利用開始としております。主な施設といたしましては、多目的グラウンド約1ha、ウォーキング走路425m、駐車場90台、トイレ1棟等となっております。また、維持管理面での特徴としまして、多目的グラウンド内において、自動芝刈機を採用し、貸出し時間外に自動で芝刈を行うことで、芝生のコンディションが一定に保たれるよう管理を行っております。

Q2 それぞれの施設の利用状況について。

A2 大東BMX・スケートボードエリア

【文化スポーツ部 スポーツ振興課】

⇒7月19日のエリアオープンから8月31日までの利用者数は延べ1,353人となっております。内訳は、BMXが95人、スケートボードが1,243人、インラインスケートが15人となっております。

大東グラウンド

【都市計画部 公園整備課】

⇒大東グラウンド内の多目的グラウンドにつきましては、令和5年7月より貸出しを開始し、令和5年8月までの約2ヶ月の間で、約3,000名の方に利用いただいております。主な利用目的としては野球、サッカーによるものとなっております。

Q3 それぞれの施設の地域活性化に資するような活用はどのように考えているのか。

A3 大東BMX・スケートボードエリア

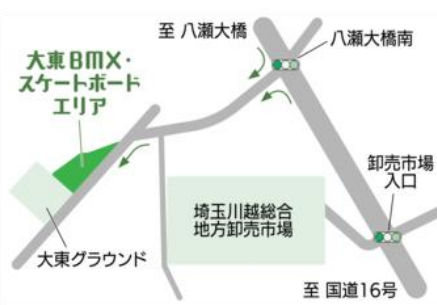
【文化スポーツ部 スポーツ振興課】

⇒市外遠方や若い年代の方々の利用も多い状況でございますので、エリア利用をきっかけとして本市の魅力を知る、伝えるスポーツツーリズムが地域活性化に繋がるものと捉えております。また、今後は愛好団体等と連携しながら教室やイベント等を開催し、初心者や子供から大人までがエリアで楽しめるよう、更なる魅力向上、発信に努めてまいります。

大東グラウンド

【都市計画部 公園整備課】

⇒広い面積を有した都市公園で、多くの駐車場もあり、地域の方が主催するようなイベントや地域活動の場としても活用できるものと考えておりますので、地元等で利用に関しご相談があれば、適宜、対応してまいります。



←←各施設の詳細、利用案内等は川越市HPよりご確認ください。→→



2. 子どもの読書のあり方について

Q4 図書館が子どもに対してどのような事業を行っているか伺いたい。

A4 図書館では、市内の全ての子どもが本に親しみ、読書を好きになってもらえるよう、「第4次川越市子ども読書活動推進計画」に基づき各種事業を行っております。一例をあげますと、各図書館において、成長段階に合ったおはなし会を行い、本との出会いの機会を提供するほか、毎年4月23日の「子ども読書の日」の関連事業として「こどもとしょかんまつり」を開催しております。家庭での読書環境づくりの支援としては、4か月児検診時に絵本を配布するブックスタート事業を行っております。また、小学校新入生を対象にリーフレットを配布し、読書活動の啓発を行っております。次に、市立小学校に対する事業としては、図書館職員が小学校を訪問して本の読み聞かせや学級単位での貸出などを行う学級訪問や、小学校のクラスを招待して本の読み聞かせや館内ツアーを行う学級招待などがございます。その他としまして、学童保育室に図書館職員が出向いて読み聞かせなどを行う学童保育室おはなし会や、読書紹介文コンクールで入賞した作品の紹介文展示、「小江戸小・中学生ビブリオバトル」で紹介された本の展示などがございます。【中央図書館】

Q5 子どもたちの読書ばなれを防ぐために、学校教育の中で取り組んでいることについて伺いたい。

A5 学習指導要領におきましては、主に国語科において、各学年における学習が読書活動に結び付くよう「読書」に関する指導事項が位置付けられております。また、各学校におきましては、国語科の授業以外にも、始業前に読書の時間を設けるなどの工夫もしております。川越市教育委員会におきましては、目標読書冊数等を達成した児童生徒への「小江戸名人賞」授与や「読書紹介文コンクール」及び「小江戸小・中学生ビブリオバトル」の実施を通して、子どもたちが自ら本を手にとることができるよう読書推進事業を進めております。【教育指導課】

Q6 学校図書館を利用させるうえで工夫していることについて伺いたい。

A6 本市では、小・中・特別支援学校に学校図書館の運営を主に行う学校司書を配置しております。学校司書は、司書教諭と連携を図り、図書館利用のオリエンテーションやテーマを設けた本の紹介を行っております。また、教科書で学んでいる内容に関連する本や季節の関連本などを常時入れ替えて展示するなどして、学校図書館が充実するよう工夫しております。【教育指導課】

Q7 子どもたちの読書活動を推進するために、地域の人と交流しながら取り組んでいることはあるか伺いたい。

A7 学校によっては、地域のボランティアが、子どもたちに読み聞かせを行っております。読み聞かせの取組を通して、子どもたちは本の楽しさを味わい、読書への興味を高めております。【教育指導課】

Q8 今後、川越市子ども読書活動推進計画をどのように進めていくのか伺いたい。

A8 子ども時代に読書習慣を身につけることは、読解力や表現力が高まるとともに、ものの見方や考え方等知らなかった新しい世界に触れることで、自ら学ぶ楽しさや知識を得る喜びを通して充実した人生を生きる力をはぐくむことに寄与するものと考えております。令和5年3月に作成した第4次川越市子ども読書活動推進計画では「川越市のすべての子どもが本に親しみ、「読書がすき」を育む」を基本目標とし、3つの基本方針により、家庭、図書館、学校、地域それぞれが取り組む事業について整理いたしました。主な取組といたしまして、家庭においては、保護者に読書の意義や重要性についてご理解いただき読書の習慣化に役立つ取り組みを、学校では読書機会の提供のための環境整備や読書の動機付け事業の展開を、地域では様々な場で子どもの自主的な読書活動を支援するボランティアや団体の育成支援などを位置づけ、図書館が実施する様々な事業と連携・協力しながら、家庭、学校、地域で一体となって子どもの読書活動の推進に取り組んでまいりたいと考えております。【中央図書館】

※一般質問とは⇒市議会議員が市民の関心事や市政に対する問題を提起し、

市長や市政府の担当者に対して回答を求めること。市民の声を反映させる重要な機会。

全部の動画をご覧になりたい方はこちらのQRコードを読み込むか、川越市ホームページ>川越市議会>議会中継よりご覧ください。



令和5年第3回定例会の議事録をご覧される方はこちらのQRコードを読み込むか、川越市ホームページ>川越市議会>会議録検索よりご覧ください。



活動紹介



大東グラウンド
ゴルフ大会参加



日上市からの観光客の
お見送り(おかみさん会)



大東地区各自治体の
納涼祭参加



市立川越高校の
文化祭参加



小江戸、子育て支援推進
協議会のワークショップ

松本きみプロフィール

- ・川越市南大塚在住 ・昭和55年4月13日生 2児の母
- ・文京学院大学卒 在学中に保育士・幼稚園教諭資格を取得
- ・川越市内の南双葉幼稚園に勤務後、市内の保育園にて主任保育士、園長を務める。

【所属】小江戸・子ども支援推進協議会アドバイザー／

川越きもの日実行委員／NPO法人川越おかみさん会理事

喜びの声 子育て支援の会

Tel : 080-6285-5593

Mail : yorokobi@kimi-matsumoto.com

◇松本きみ公式HP

<https://kimi-matsumoto.com/>

